



#彩の国けんけつ NEWS !!

第4号
～2019年春～



コラボ



日本赤十字社
埼玉県
赤十字血液センター



こんにちは！！

埼玉県立常盤高等学校 看護科 JRC(青少年赤十字)部です！
常盤高校は、看護師を育成する5年一貫の専門高校です！
未来の看護師であるわたしたちから、
埼玉県民のみなさんへ献血情報をお送りします！



埼玉県献血マスコット
「エビオ君」

テーマ：輸血を受けた方へのインタビュー！！

1号は埼玉製造所見学レポート、2号は献血体験レポート、
3号は受血者の実態レポート、とお届けしてきましたが、
みなさん、読んでいただけましたか？
(献血ルームやホームページで読めますよ！)

・・・そして、今回の4号は！
みなさんの血液が
どんな患者さんのもとへ
届いているか
お伝えするために、

実際に輸血を
経験された、
女優「友寄蓮さん」
にインタビューを
しました！



ともよせ れん
友寄 蓮さん

1995年3月29日東京生まれの24歳。
O型。高校2年生の秋に急性リンパ
性白血病と診断される。
1年4ヶ月の闘病生活を経て芸能界
デビュー。舞台やスポーツのリポー
トなどジャンルを問わず活動。
現在は「彩の国けんけつ大使」とし
て、イベントや講演会をとおして、
献血のPRを行っている。

Q1. 「急性リンパ性白血病」とはどのような病気ですか？

A1. 白血病にもいくつか種類があるのですが、小児のなかで一番多いとされている型
です。基本は抗ガン剤のみで治療を進めていきます。
血液を自力で作ることが出来なくなる病気なので、数値が下がってしまったら
「輸血」をして補う必要があります。

Q2. 輸血前後の気持ちはどうでしたか？

A2. 輸血前は顔が真っ白で、
寒気や頭痛、嘔気がし不安でした。
輸血後は体が温まり、頬や唇に
血色が戻ったのを見て、生きている
のを実感しました。
「この血液は誰がくれたのか？」
考えていました。

輸血前



輸血後



病室



日本赤十字社 埼玉県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.





Q3. 白血病にかかる前に献血について知っていましたか？

A3. 東京の高校では学ばないので、知らなかったです。
献血もしたことありませんでした。
知った時にはすでに献血ができない体になっていましたが、
患者さんにはこういった人が多いと思います。
そのため、献血ができる体は財産だと思っています。
1つの血液パックにはたくさんの人が関わっているため
大切にしていきたいです。



Q4. 今後はどのような活動をしていきますか？

A4. 闘病記を書いてみたいです。
献血のイベントを通して、多くの方へ興味を持ってもらいたいです。

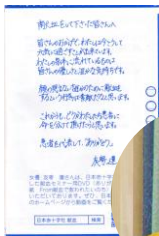


Q5. けんけつNEWSの読者と献血の呼びかけている人に伝えたいことはありますか？

A5. 足を運んでくれてありがとうございます。
血液は患者にとって命そのものだから、本当にありがたいです。
献血については理解がまだ広がっていないので、呼びかけでは「なぜ必要なのか」
をしっかりと伝えて、知識をつけることが大切だと思います。
怖いと思っている人にも、献血ルームはリラックスできる場所なので、もっと気楽に
行ってほしいです。



友寄蓮さん、
ありがとうございました！！



献血後の
検査成績通知書
(青いハガキ)に、
友寄蓮さんからのメッセージ
が書いてあるので
見つけて
くださいね♪



 友寄蓮
@ren_tomoyose



★ありがとうの手紙が届きました ～さいたま市 Sさん～

大学生の頃、よく大学のキャンパス内に献血カーが止まっているのを目にしました。当時
の私は注射は苦手だし、自分には関係のないことでだからと、献血カーを横目に素通り
していました。
そして、社会人としてこれから頑張ろうと希望を胸に働き始めた22歳の6月、悪性リンパ腫
を発症しました。抗がん剤治療が始まると、髪は抜け落ち、突然襲ってくる吐き気、口内炎
で食事は取れず、激しい頭痛、肺炎など様々な副作用に苦しみました。
また、赤血球・白血球・血小板の数が減少し、立ち上がるのはおろか起き上がることも辛
い状況でした。それを助けてくれたのが輸血です。この病気を発症するまで“輸血は事故
や大怪我をした人のためのもの”と思い込んでいた私は、まさか自分が輸血を受ける日が
来るとは思ってもみませんでした。輸血を受けた次の日、身体と同時に心も軽くなり、みる
みる元気になって自然と笑顔が溢れていくのが実感できました。
治療中は何度も何度も輸血をしました。みなさんが献血してくださった血液のおかげで私
は今生きています。みなさんの血液は私の中で生きています。大学生の頃、“私には関係
のないことだから”と献血に協力しなかったことを敬遠している方がいるかもしれません。でも
がどのように使われているのかわからないからと敬遠している方がいるかもしれません。でも
みなさんの献血のおかげで救われた命は私を含めたくさんあります。皆さんに助けていた
だいた命を大切にこれから恩返しをしていきたいです。本当にありがとうございました。

★編集後記

新聞を読んでくださりありがとうございました。今回は「輸血を受けた方へのイ
ンタビュー！！」をテーマに現在彩の国けんけつ大使としても活躍している
友寄蓮さんにインタビューをしました。
実際に輸血を受けていた方の話を聞くことでまた別の視点から献血について
学ぶことができたのではないのでしょうか？
1年間けんけつNEWSを作らせていただいて、たくさんの人に読んでもらうこと
ができ、うれしく思っています。私たちもより深く献血を学ぶ機会ができ、とて
も良い経験となりました。1年間ありがとうございました！



はげみになります！
感想やリクエストはこちらまで！
埼玉県赤十字血液センター総務課企画係
st-kikaku@ktkc.bbc.jrc.or.jp



日本赤十字社 埼玉県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

